

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|--|
| 研究課題名 | 有鉤骨鉤骨折発生に関する有鉤骨の骨形態調査：多施設共同研究 |
| 研究責任者 | 鈴木 歩実 |
| 研究実施体制 | 上肢外傷外科 |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日～2024年1月31日 |
| 対象者 | 2008年1月1日～2023年4月1日の間に当院および富山大学付属病院、黒部市民病院で有鉤骨鉤骨折と診断され、その際にCTを実施した患者さんが対象です。また同時期に他の手部骨折(手舟状骨骨折)でCTを実施した患者さん、他外傷のため手部のCTを撮影した野球選手の患者さんの一部が比較対象となります。 |
| 研究の意義・目的 | 野球選手の有鉤骨鉤骨折患者さんの骨形態を他骨折の患者さんのそれと比較し、同骨折の発生に関連する解剖学的因子を検討することです。本研究結果が骨折の予防、早期発見に役立つ可能性があります。 |
| 研究の方法 | 対象患者さんの性別、年齢、CTで計測した有鉤骨形態を調査し、男女比と年齢分布が類似した他の骨折の患者さんのCT所見と比較します。 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 上肢外傷外科 鈴木 歩実 TEL:053-474-2222(代表) 整形外科外来 9:00～17:00 平日 |